

カトリック葛西教会 **Kasai Catholic Church**  
 年間第 16 主日 **16<sup>th</sup> Sunday in Ordinary Time**

[ “霊 “は]弱いわたしたちを助けてくださいます (ローマ 8・26)

The Sprit comes to help us in our weakness(Rom 8:26)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15  
 1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo  
 Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449  
<http://kasaicc.net/>



主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)  
 日曜日 Sun.10:00am (日本語) & 4:00pm (English)

今日の行事予定： バザー委員会

**松尾新司祭による初ミサ**

松尾新司祭による葛西教会での初ミサが  
 8月13日(日)に決まりました。  
 たくさんのお恵みと祝福をいただきましょう。

**福祉部給食**

中断していたホーレスへの給食を、毎金曜日午前11時より復活  
 しています。この活動は「ステファノ会」という名で呼ぶこ  
 とになりました。お手伝いいただける方執行部までお申し出  
 下さい。

**聖書勉強会**

聖書勉強会は原則毎月第4日曜日のミサ後11:30より小聖堂で行  
 っています。たくさんの方の参加をお待ちしています。  
 (宣教部:シスター植木)

**献堂 50周年記念事業第6期(1月~6月) 献金報告**

2017年第6期報告(6月末現在)  
 申込者数:95名(目標:200名)  
 献金合計:1,951,805円(目標:3,000,000円)1期からの合計は  
 14,894,772円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致し  
 ます。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きくだ  
 さい。

**7月のカフェ**

7月30日ミサ後にトマスホールで「夏カフェ」を開きます。ス  
 イカと麦茶でほっと一息なさいませんか。初めての方もご利用  
 ください。(白濱)

**Fr. Futoshi Matsuo**

On August 13, Fr. Matsuo celebrates his First Mass at Kasai.

**Kasai Church 50<sup>th</sup> Anniv. Preparation Committee**

Contribution for church's 50th Anniversary totals 14,894,772 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

**Tagalog Na Misa**

Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa umaga).  
 August 2 ang Mierkules sa mga darating na buwan. May kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

**50周年ロザリオの祈りの報告(2017年分)**

6月は7名 208環で、累計68名917環です2017年も3,000環が目標です。よろしくお願ひ致します。  
 (50周年委員会)

**地区部会からのお知らせ**

8月6日(日)10時のミサ後、地区部会を開きます。地区委員の方はお集まり下さい。

共同祈願の祈り

神よ、み旨のままに  
 導いてください。

## その他今後の予定

07月23日(日) 年間第16主日

07月28日(金)～30日(日) 教会学校キャンプ 御殿場YMCA

07月30日(日) 年間第17主日

08月06日(日) 年間第18主日

08月13日(日) 年間第19主日

**今週の掃除は7月29日(土)**  
青年会です。皆さまご参加ください。  
**This Week's Church Cleaning Duty July 29<sup>th</sup> Saturday**  
**Youth Group**

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

### 献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。

## 『年間第16主日』A年

今日の福音 マタイによる福音 (13:24-43、または13:24-30)

〔そのとき、〕イエスは、別のたとえを持ち出して言われた。「天の国は次のようにたとえられる。ある人が良い種を畑に蒔いた。人々が眠っている間に、敵が来て、麦の中に毒麦を蒔いて行った。芽が出て、実ってみると、毒麦も現れた。僕たちが主人のところに来て言った。『だんなさま、畑には良い種をお蒔きになったではありませんか。どこから毒麦が入ったのでしょうか。』主人は、『敵の仕業だ』と言った。そこで、僕たちが、『では、行って抜き集めておきましょうか』と言うと、主人は言った。『いや、毒麦を集めるとき、麦まで一緒に抜くかもしれない。刈り入れまで、両方とも育つままにしておきなさい。刈り入れの時、「まず毒麦を集め、焼くために束にし、麦の方は集めて倉に入れなさい」と、刈り取る者に言いつけよう。』

《イエスは、別のたとえを持ち出して、彼らに言われた。「天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」

また、別のたとえをお話しになった。「天の国はパン種に似ている。女がこれを取って三サトンの粉に混ぜると、やがて全体が膨れる。」

イエスはこれらのことをみな、たとえを用いて群衆に語られ、たとえを用いないでは何も語られなかった。それは、預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

「わたしは口を開いてたとえを用い、天地創造の時から隠されていたことを告げる。」

それから、イエスは群衆を後に残して家にお入りになった。すると、弟子たちがそばに寄って来て、「畑の毒麦のたとえを説明してください」と言った。イエスはお答えになった。「良い種を蒔く者は人の子、畑は世界、良い種は御国の子ら、毒麦は悪い者の子らである。毒麦を蒔いた敵は悪魔、刈り入れは世の終わりのことで、刈り入れる者は天使たちである。だから、毒麦が集められて火で焼かれるように、世の終わりにもそうなるのだ。人の子は天使たちを遣わし、つまずきとなるものすべてと不法を行う者どもを自分の国から集めさせ、燃え盛る炉の中に投げ込ませるのである。彼らは、そこで泣きわめいて歯ぎしりするだろう。そのとき、正しい人々はその父の国で太陽のように輝く。耳のある者は聞きなさい。」

聖書新共同訳より引用

### **A Reading from the Holy Gospel according to Matthew (13 : 24-43 or 13 : 24-30)**

*Leave it to God to separate the good from the bad*

Jesus put a parable before the crowds, "The Kingdom of heaven may be compared to a man who sowed good seed in his field. While everybody was asleep his enemy came, sowed darnel all among the wheat, and mode off. When the new wheat sprouted and ripened, the darnel appeared as well. The owner's servants went to him and said, 'Sir, was it not good seed that you sowed in your field? If so, where does the darnel come from?' 'Some enemy has done this' he answered. And the servants said, 'Do you want us to go and weed it out?' But he said, No, because when you weed out the darnel you might pull up the wheat with it. Let them both grow till the harvest; and at harvest time I shall say to the reapers: First collect the darnel and tie it in bundles to be burnt, then gather the wheat into my barn."

He put another parable before them, "The kingdom of heaven is like a mustard seed which a man took and sowed in his field. It is the smallest of all the seeds, but when it has grown it is the biggest shrub of all and becomes a tree so that the birds of the air come and shelter in its branches."

He told them another parable, "The kingdom of heaven is like the yeast a woman took and mixed in with three measures of flour till it was leavened all through."

In all this Jesus spoke to the crowds in parables; indeed, he would never speak to them except in parable. This was to fulfill the prophecy:

I will speak to you in parables and expound things hidden since the foundation of the world.

Then, leaving the crowds he went to the house; and his disciples came to him and said, "Explain the parable about the darnel in the field to us." He said in reply, "The sower of the good seed is the Son of Man. The field is the world; the good seed is the subjects of the kingdom; the darnel, the subjects of the evil one; the enemy who sowed them, the devil; the harvest is the end of the world; the reapers are the angels. Well then, just as the darnel is gathered up and burnt in the fire, so it will be at the end of time. The Son of Man will send his angels and they will gather out of his kingdom all things that provoke offences and all who do evil, and throw them into the blazing furnace, where there will be weeping and grinding of teeth. Then the virtuous will shine like the sun in the kingdom of their Father. Listen, anyone who has ears!"

This is the Gospel of the Lord